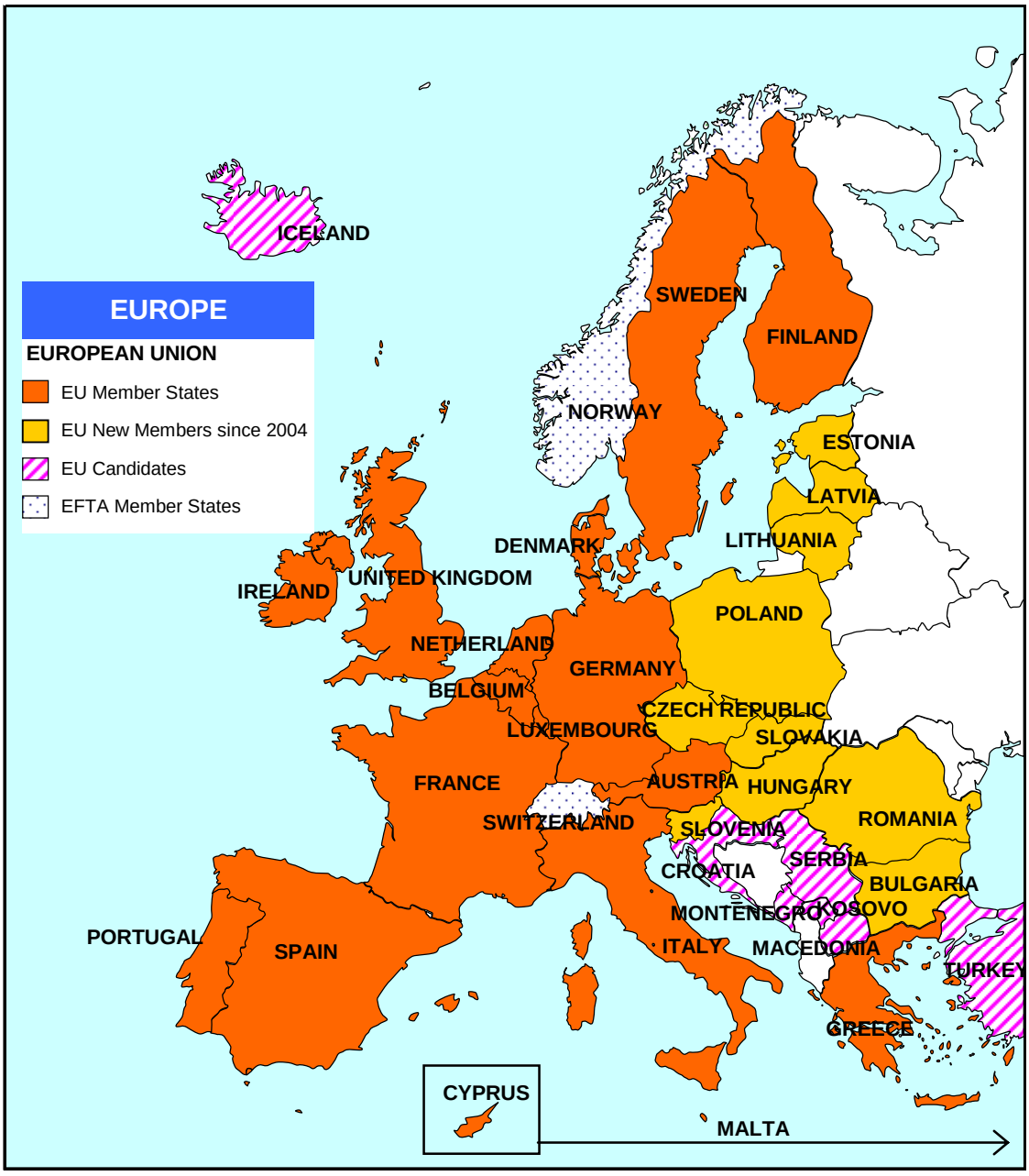
2013 年 6 月 21 日　全 13 頁

欧州経済アップデート（2013.6）

経済調査部
研究員　矢澤 朋子

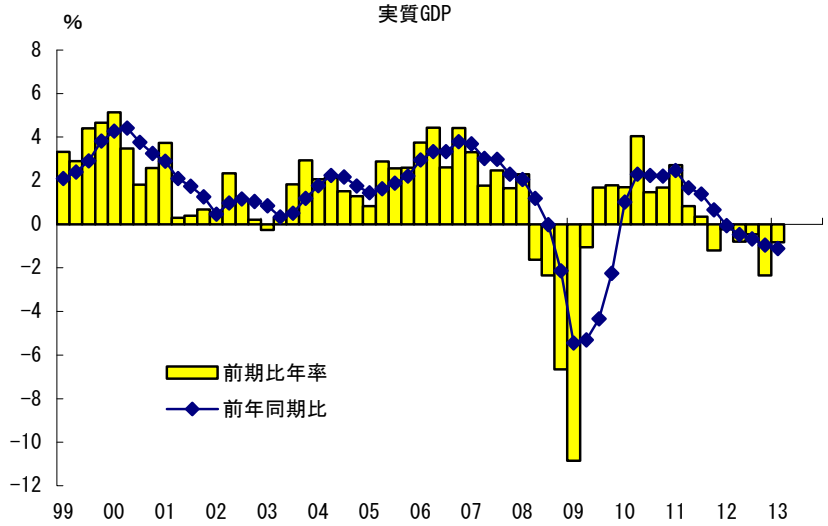


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

大和証券グループ　株式会社大和総研 丸の内オフィス　〒100-6756 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号 グラントウキョウノースタワー
このレポートは投資勧誘を意図して提供するものではありません。このレポートの掲載情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。㈱大和総研の親会社である㈱大和総研ホールディングスと大和証券㈱は、㈱大和証券グループ本社を親会社とする大和証券グループの会社です。内容に関する一切の権利は㈱大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等はご遠慮ください。

ユーロ圏 GDP

- 13 年 Q1 の GDP 成長率（2 次推計）は前期比－0.2%と速報から変わらず
- 総固定資本形成は前期比－1.6%となり、8 四半期連続のマイナス。輸出も同－0.8%と 2 四半期連続のマイナスで足を引っ張った
- 個人消費は 6 四半期ぶりにプラス成長に転じた（前期比＋0.1%）。輸出の減少幅より輸入のそれの方が大きかったため、純輸出もプラス寄与となった



名目GDPに占める割合（%）

	2012
民間消費	57.5
政府消費	21.5
総固定資本形成	18.4
設備投資	8.0
住宅投資	5.3
その他建設投資	5.2
輸出	45.6
輸入	42.9

ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.4	1.0	0.4	0.4	0.7	0.2	0.1	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.6	-0.2
個人消費	0.2	0.3	0.2	0.5	-0.0	-0.4	0.3	-0.7	-0.2	-0.5	-0.2	-0.6	0.1
政府消費	-0.3	0.1	0.3	-0.1	-0.2	-0.0	-0.1	0.0	-0.0	-0.3	-0.2	0.0	-0.1
総固定資本形成	-0.2	2.0	0.1	-0.6	2.1	-0.3	-0.5	-0.6	-1.4	-1.7	-0.9	-1.4	-1.6
設備投資	1.8	2.9	1.3	0.9	1.6	0.5	0.3	-0.5	-1.1	-1.5	-1.3	-1.5	-1.4
住宅投資	-0.2	2.0	-0.7	-1.6	2.9	-0.8	-0.8	-0.8	-0.8	-1.6	-0.3	-1.4	-1.2
その他建設投資	-3.2	0.6	-0.9	-1.9	2.0	-1.1	-1.3	-0.5	-2.3	-2.2	-0.9	-1.4	-2.1
輸出	2.8	4.6	1.9	2.0	1.7	0.6	1.3	0.0	0.7	1.6	0.8	-0.9	-0.8
輸入	3.3	4.1	1.3	1.8	1.5	-0.1	0.5	-1.4	0.0	0.4	0.2	-1.2	-1.1

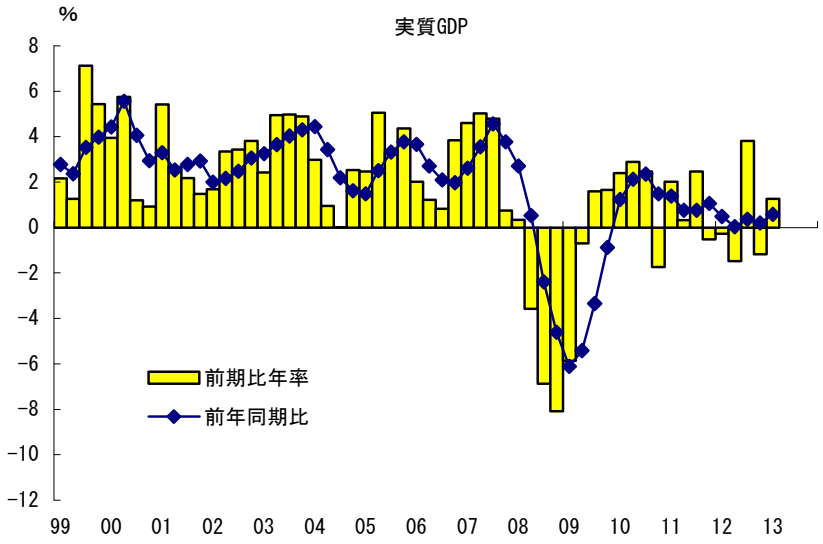
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.42	1.00	0.37	0.42	0.67	0.21	0.09	-0.30	-0.06	-0.20	-0.11	-0.59	-0.21
個人消費	0.12	0.15	0.14	0.30	-0.03	-0.25	0.16	-0.40	-0.13	-0.28	-0.11	-0.32	0.04
政府消費	-0.07	0.02	0.07	-0.01	-0.05	-0.00	-0.02	0.01	-0.00	-0.07	-0.05	0.01	-0.02
総固定資本形成	-0.04	0.37	0.01	-0.11	0.39	-0.07	-0.09	-0.11	-0.26	-0.32	-0.17	-0.26	-0.28
設備投資	0.15	0.24	0.11	0.08	0.13	0.04	0.03	-0.05	-0.10	-0.13	-0.11	-0.12	-0.12
住宅投資	-0.01	0.11	-0.04	-0.09	0.15	-0.04	-0.05	-0.04	-0.04	-0.08	-0.02	-0.07	-0.06
その他建設投資	-0.17	0.03	-0.04	-0.10	0.10	-0.06	-0.06	-0.02	-0.11	-0.10	-0.04	-0.07	-0.10
在庫変動	0.53	0.22	-0.15	0.14	0.24	0.25	-0.29	-0.39	-0.01	-0.08	-0.06	-0.10	-0.04
輸出	1.11	1.83	0.80	0.84	0.75	0.24	0.55	0.01	0.33	0.72	0.37	-0.41	-0.36
輸入	-1.24	-1.58	-0.50	-0.73	-0.61	0.05	-0.21	0.59	-0.00	-0.16	-0.09	0.48	0.43
純輸出	-0.13	0.25	0.30	0.11	0.14	0.29	0.33	0.59	0.33	0.56	0.28	0.07	0.07

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 13 年 Q1 の GDP 成長率（2 次推計）は前期比＋0.3%と速報から変わらず
- 個人消費は前期比＋0.1%と 6 四半期連続のプラス成長となったが、減速感は否めず。最大のプラス寄与は在庫で、前期比寄与度は＋0.41%pt となった
- 総固定資本形成は前期比－0.8%と 3 四半期連続のマイナス。内訳は未発表だが、リリースによると企業部門はマイナス継続。純輸出は輸出不振によりマイナス寄与が続く



名目GDPに占める割合（%）

	2012
民間消費	65.8
政府消費	22.1
総固定資本形成	14.2
政府部門	2.0
企業部門	8.2
民間住宅投資	3.7
輸出	31.7
輸入	34.0

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.6	0.7	0.6	-0.4	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.1	-0.4	0.9	-0.3	0.3
個人消費	-0.0	1.0	-0.1	0.3	-1.0	-0.2	-0.2	0.4	0.3	0.7	0.2	0.3	0.1
政府消費	-0.2	0.1	-0.7	-0.1	-0.3	0.5	-0.0	0.3	2.9	-1.7	0.3	0.6	0.0
総固定資本形成	5.1	-2.7	2.8	-1.7	-2.4	-0.2	0.6	-0.3	0.5	1.7	-0.4	-0.2	-0.8
政府部門	12.5	-14.4	0.1	0.4	-17.8	-9.4	3.7	-6.1	8.7	-5.9	6.6	3.8	-
企業部門	8.0	-5.8	3.6	-0.5	-1.9	4.7	2.2	2.3	-0.2	1.6	0.2	-0.8	-
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.2	-5.2	-3.1	-2.7	-1.5	6.7	-6.1	-2.6	-
輸出	-0.4	4.0	0.9	3.3	1.3	-1.8	-0.2	3.1	-1.5	-1.1	1.8	-1.6	-0.8
輸入	2.0	2.9	2.1	1.5	-2.9	-0.7	0.6	1.4	0.6	1.3	0.3	-1.0	-0.5

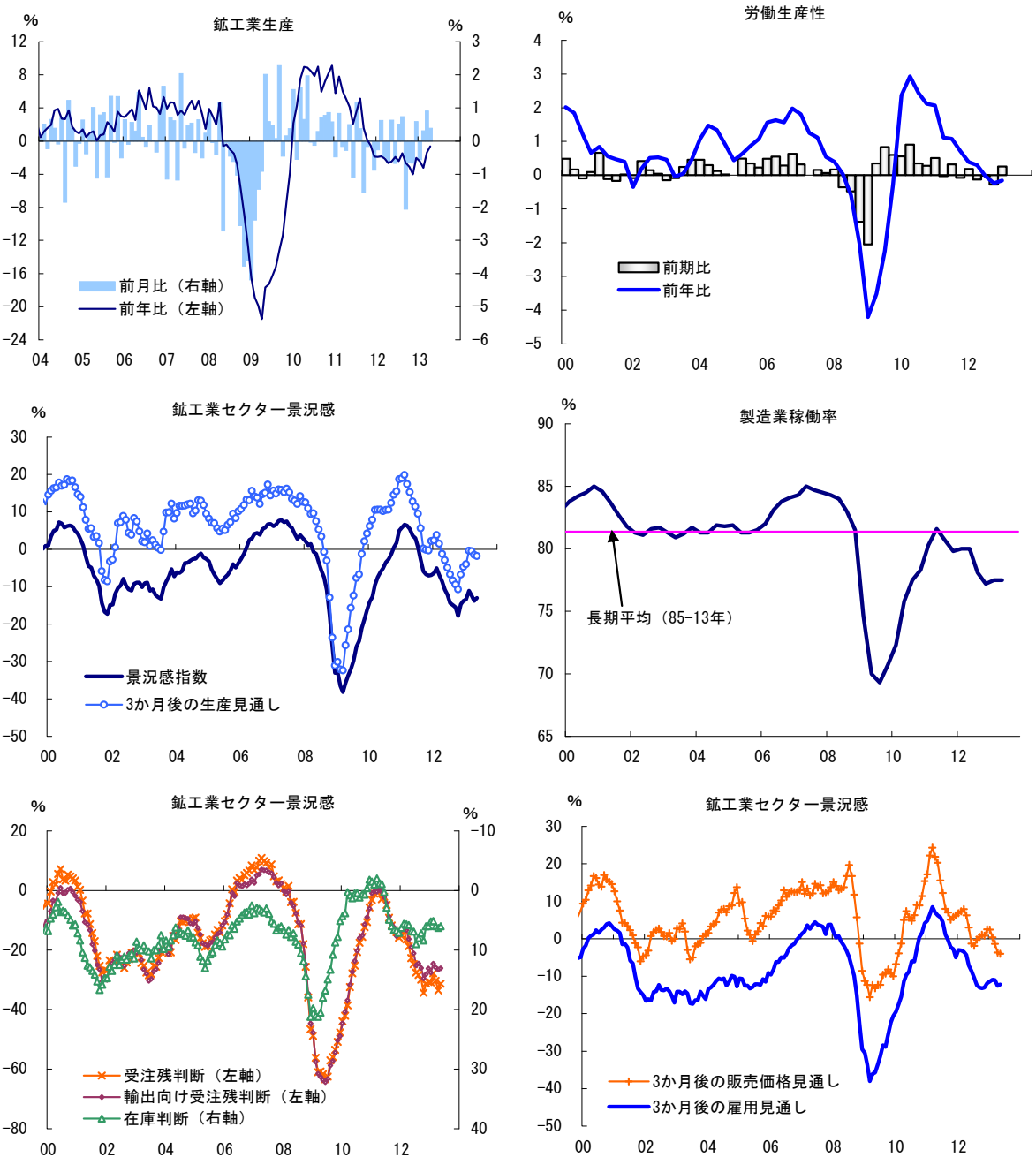
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.59	0.71	0.61	-0.43	0.50	0.08	0.61	-0.13	-0.07	-0.37	0.94	-0.29	0.31
個人消費	-0.01	0.61	-0.09	0.19	-0.67	-0.10	-0.15	0.25	0.20	0.43	0.14	0.20	0.07
政府消費	-0.04	0.03	-0.17	-0.02	-0.07	0.11	-0.01	0.06	0.66	-0.40	0.08	0.13	0.00
総固定資本形成	0.76	-0.41	0.41	-0.26	-0.36	-0.03	0.09	-0.04	0.07	0.24	-0.07	-0.03	-0.11
政府部門	0.34	-0.44	0.00	0.01	-0.47	-0.20	0.07	-0.12	0.16	-0.12	0.13	0.08	-
企業部門	0.62	-0.48	0.28	-0.04	-0.15	0.37	0.18	0.19	-0.02	0.14	0.02	-0.07	-
民間住宅投資	-0.07	0.47	0.14	-0.21	0.34	-0.23	-0.13	-0.11	-0.06	0.26	-0.26	-0.10	-
在庫変動	0.32	0.23	0.84	-0.86	0.06	0.38	0.93	-0.85	-0.26	0.19	0.40	-0.39	0.41
輸出	-0.13	1.16	0.27	0.99	0.41	-0.57	-0.06	0.95	-0.48	-0.35	0.55	-0.51	-0.24
輸入	-0.61	-0.90	-0.66	-0.49	0.96	0.23	-0.20	-0.45	-0.18	-0.41	-0.11	0.32	0.17
純輸出	-0.74	0.25	-0.39	0.50	1.37	-0.34	-0.25	0.50	-0.66	-0.76	0.44	-0.20	-0.07

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

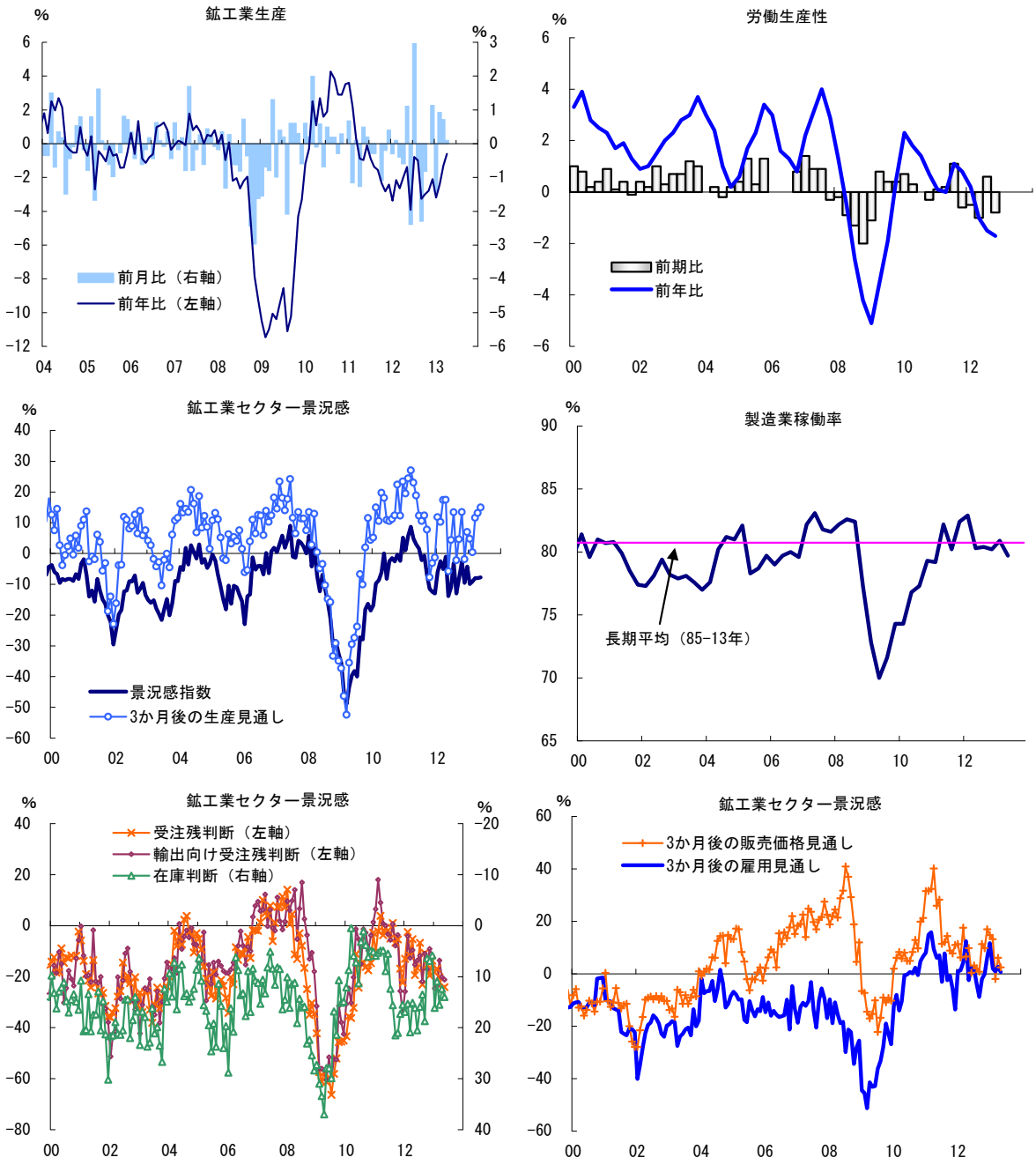
- 4 月の鉱工業生産は前月比では＋0.4%と 3 か月連続のプラス成長。資本財の増加が大きく寄与。前年比は－0.6%と前年割れ続く
- 受注残判断及び在庫判断が改善したため、5 月の鉱工業セクター景況感は 2 か月ぶりの前月比改善。しかし、3 か月後の生産見通しは悪化継続
- 13 年 Q1 の労働生産性は前期比＋0.3%と 4 四半期ぶりの上昇となった



注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）
出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

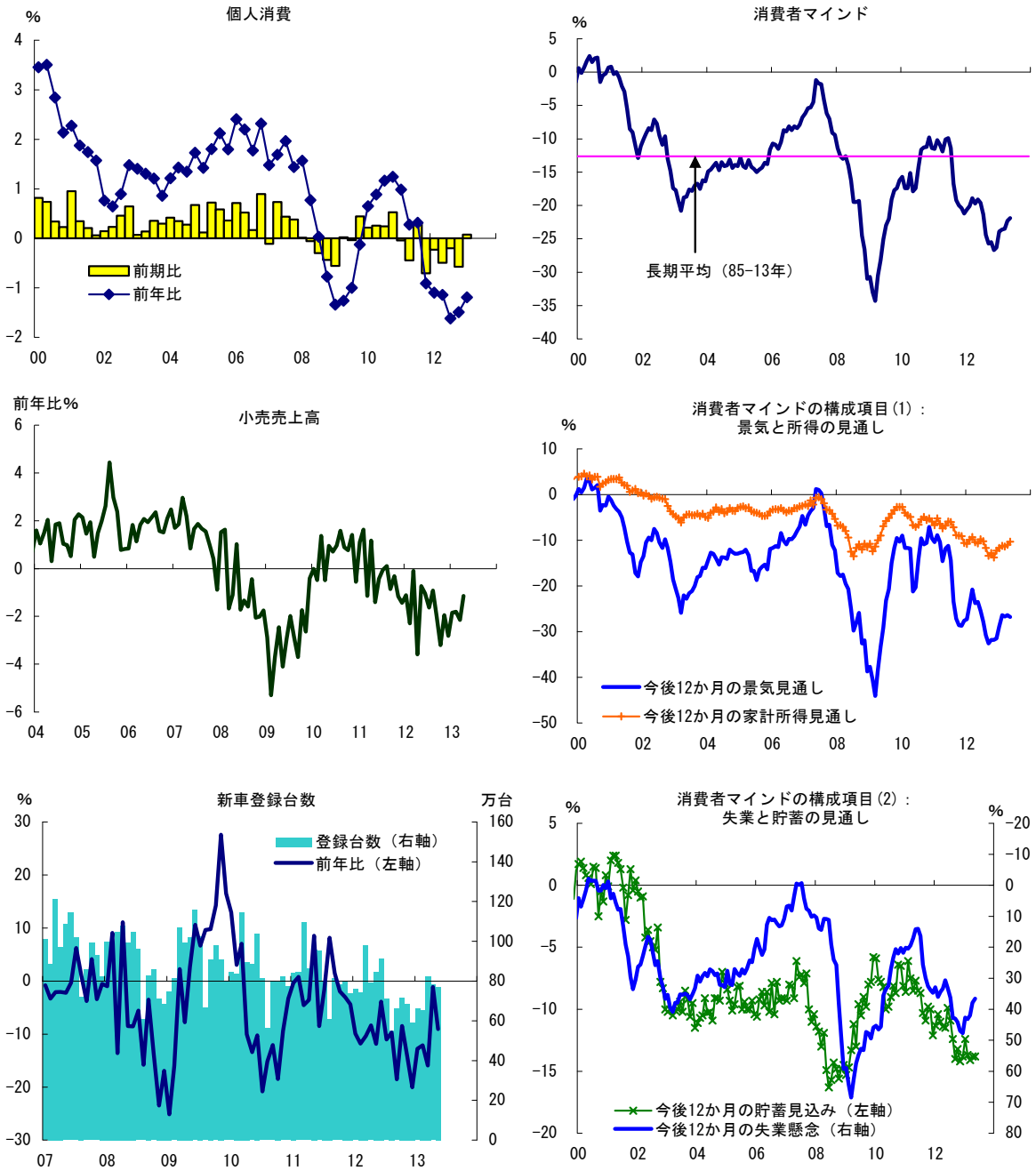
- 4 月の鉱工業生産は前月比＋0.1%、前年比－0.6%。前月比では 3 か月連続のプラスとなるが、増加幅は大きく縮小。輸送用機器のマイナス寄与が大きい
- 5 月の鉱工業セクター景況感は前月比わずかに改善。3 か月後の生産見通しは順調に改善しているが、受注残判断の改善は鈍く、在庫判断は悪化している
- 3 か月後の販売価格見通し及び雇用見通しも共に悪化に転じた



注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）
出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 13 年 Q1 の個人消費は前期比＋0.1%とごく小幅ながら 6 四半期ぶりのプラス
- 4 月の小売売上高は前年比－1.1%と不調継続。5 月の新車登録台数は前年比－9.0%の 77 万台。5 月の新車登録台数としては非常に低い水準となった
- 5 月の消費者マインドは 6 か月連続の前月比改善。今後 12 か月の失業懸念が改善したため。ただし、今後 12 か月の景気見通しはやや悪化

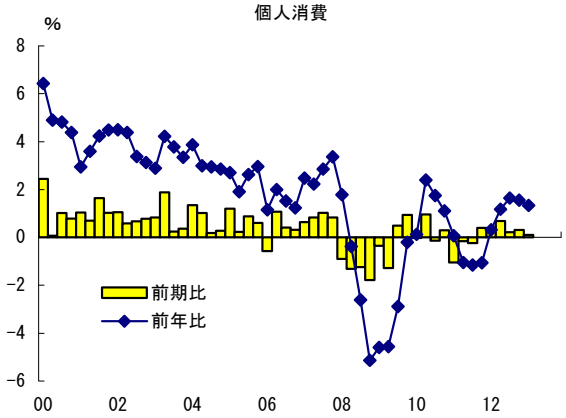


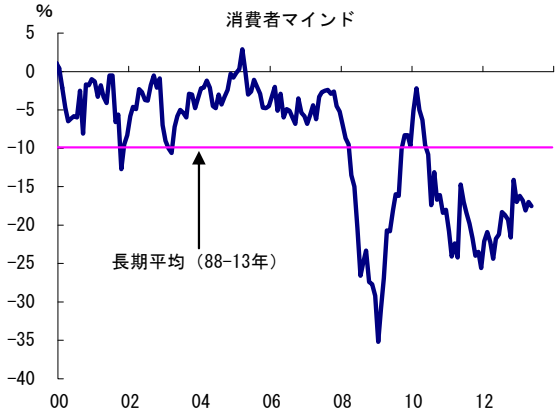
注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の 5 つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

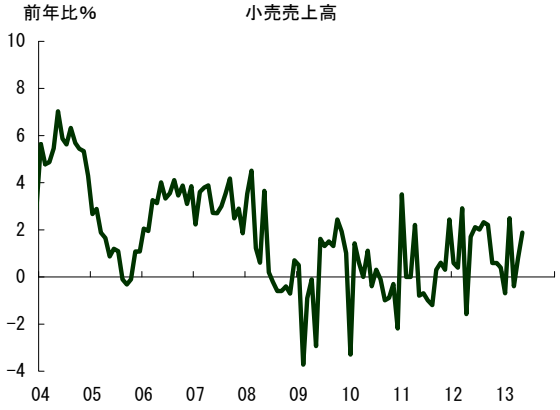
出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

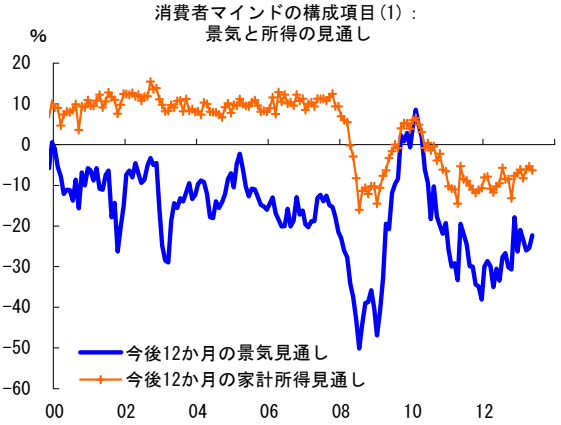
英国 消費

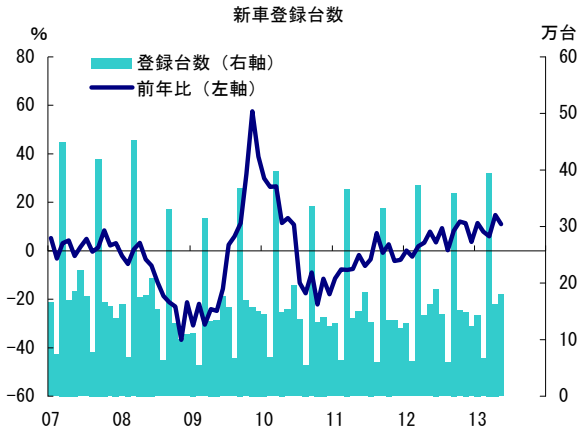
- 13 年 Q1 の個人消費は前期比＋0.1%、前年比＋0.3%。消費拡大ペースの減速が明確に
- 5 月の小売売上高は、インターネット売上の大幅増により前年比＋1.9%に回復。5 月の新車登録台数は、前年比＋11.0%と増加傾向に変化なし
- 5 月の消費者マインドは再び前月比悪化。これまで改善傾向にあった今後 12 か月の失業懸念が悪化したため。今後 12 か月の景気見通しの改善傾向は継続

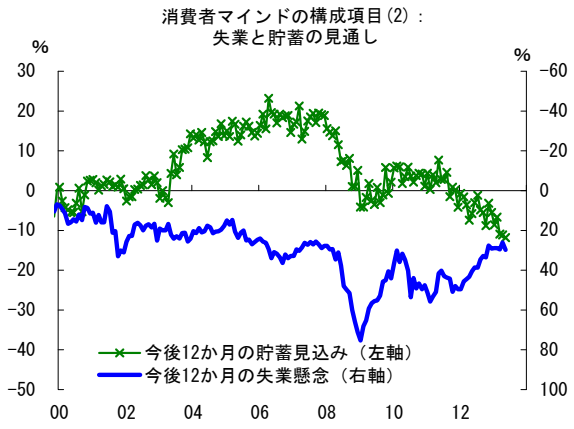










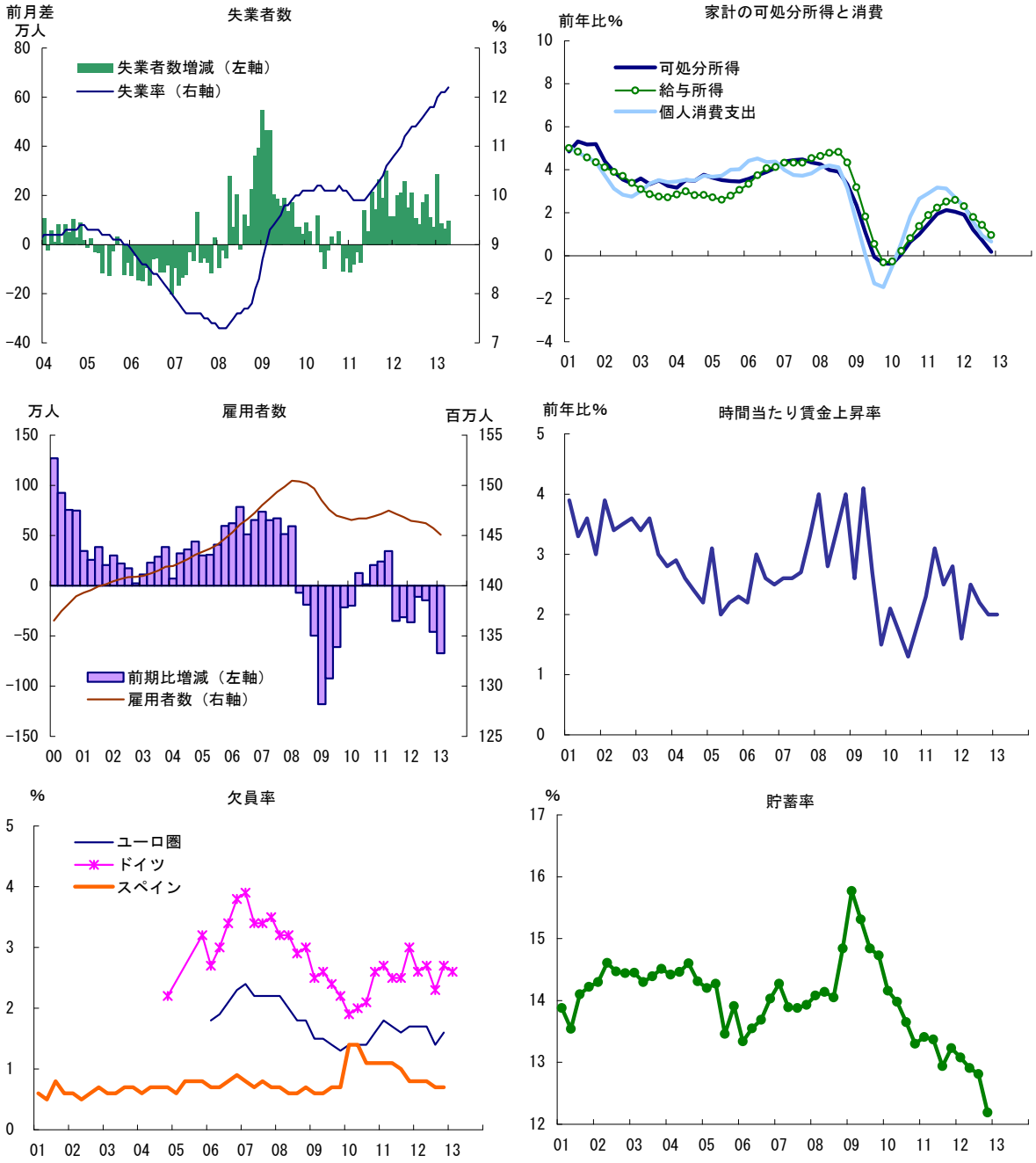


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の 5 つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 4月の失業率は12.2%とユーロ導入以来最悪の水準を再び更新。24歳以下の失業率も24.4%と過去最悪を更新
- 雇用者の減少は止まらず。13 年 Q1 の雇用者数は 12 年 Q4 と比べて 67 万 2 千人の減少。09 年 Q2 以来の大幅な減少幅を記録
- 13 年 Q1 の時間当たり賃金上昇率は前年比＋2.0%と 12 年 Q4 と同水準

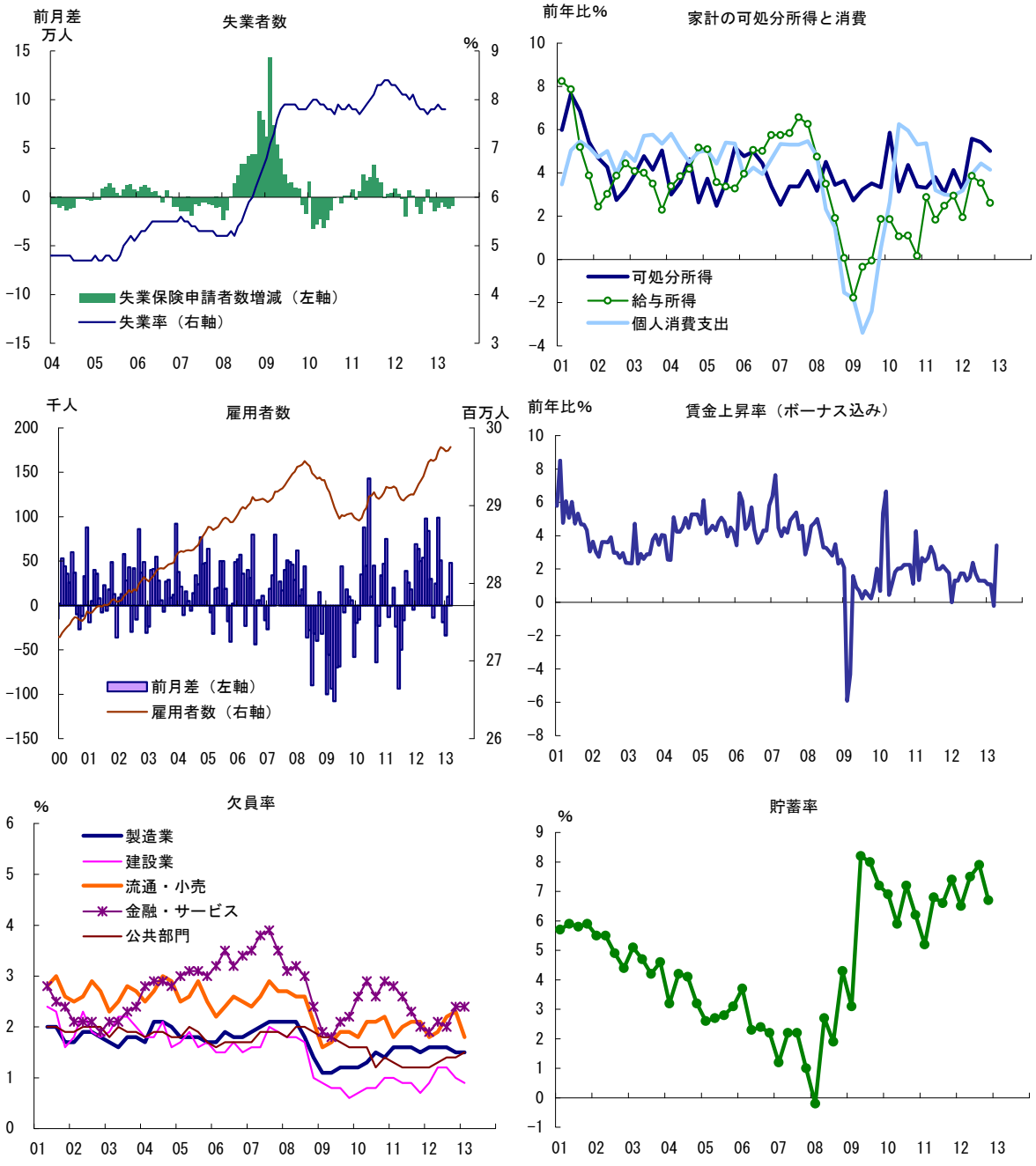


注：欠員率（Job Vacancy Rate）＝Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) ＊100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 2-4 月の雇用者数は 1-3 月比 4 万 8 千人増加と 2 か月連続の増加。特にパートタイムの増加が顕著
- 5 月の失業保険申請者数は 7 か月連続の前月比減少
- ボーナスの大幅な増加により、4 月の賃金上昇率は 3 月の前年割れから同＋3.4%に押し上げられた。2011 年 1 月以来の大幅な伸びを記録

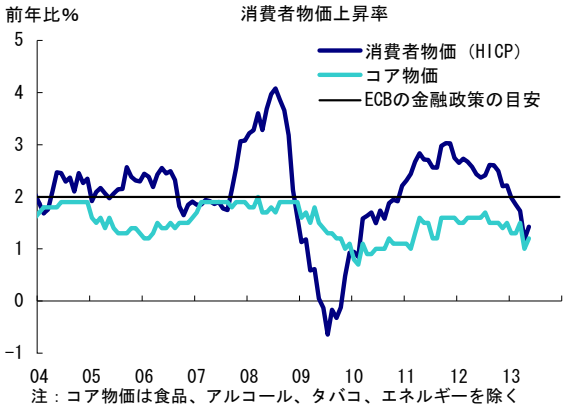


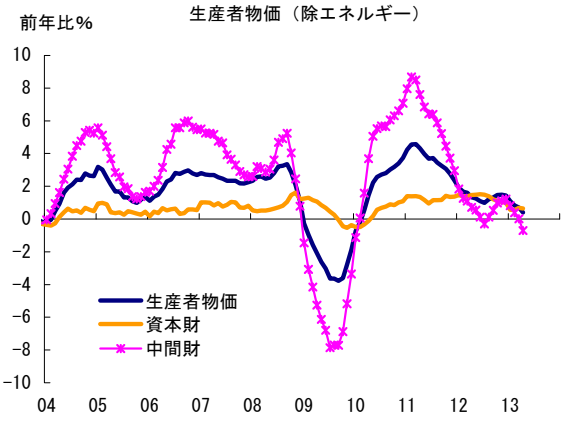
注：欠員率（Job Vacancy Rate）＝Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) ＊ 100

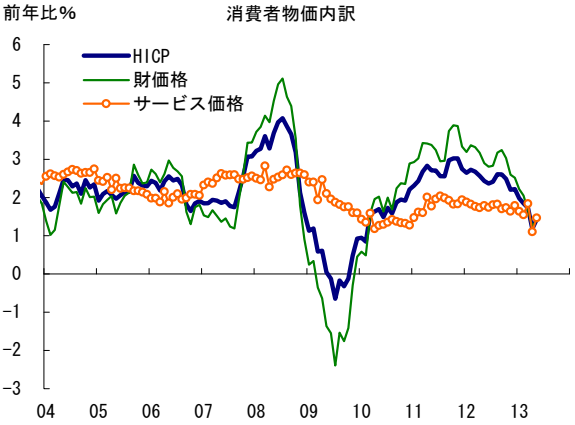
出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

- 5 月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比＋1.4%となり、12 年 8 月からの伸び率鈍化傾向に歯止め。果物、野菜、電気の価格上昇が目立つ一方、輸送用燃料価格は下落が続く
- 4 月の生産者物価は前年比＋0.4%。うち、中間財は同－0.7%と 9 か月ぶりの前年割れ
- 4 月の独輸入物価は前年比－3.2%と 4 か月連続の前年割れ。5 月のユーロの名目実効為替レートは前月比ほぼ横ばい



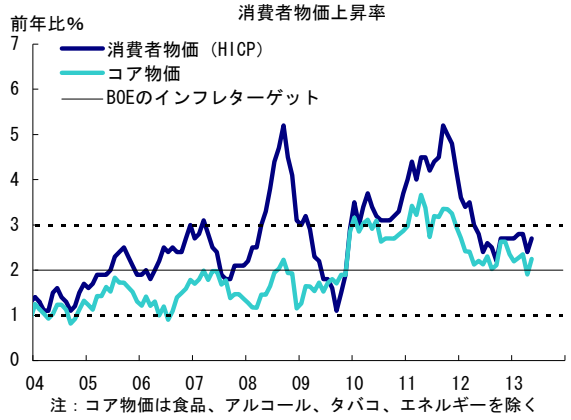


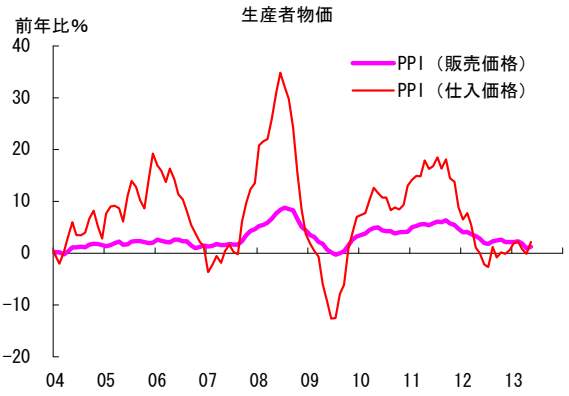


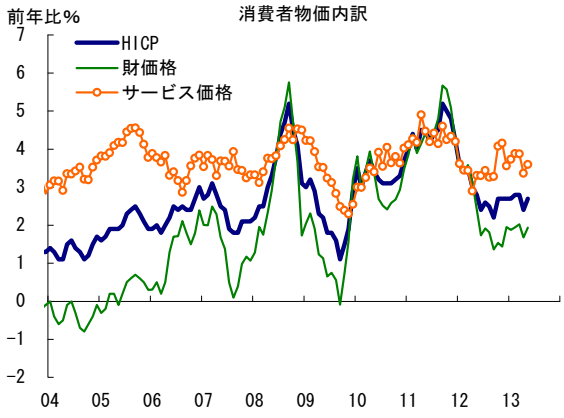
出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

- 5 月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比＋2.7%と 4 月から伸び加速。輸送費や衣料品が価格を押し上げた
- 5 月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比＋1.2%。仕入価格は同＋2.2%と前年割れを脱したが、その主要因は国産食品価格の上昇
- 4 月の輸入物価上昇率は前年比－0.5%。5 月のポンドの名目実効為替レートは前月比ほぼ横ばい



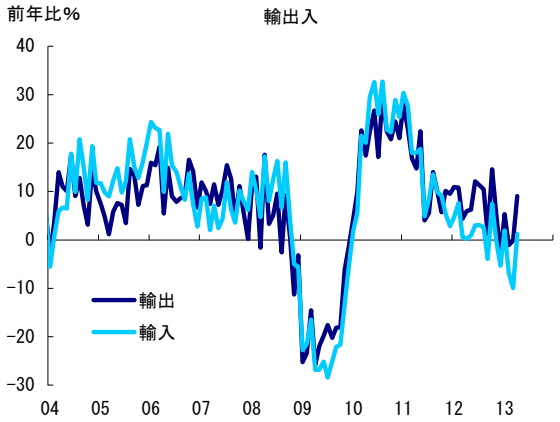


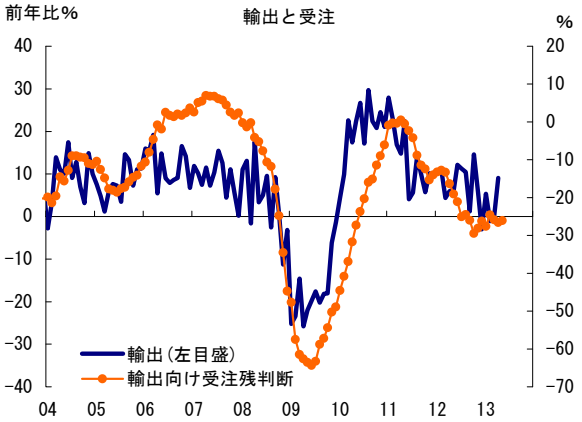


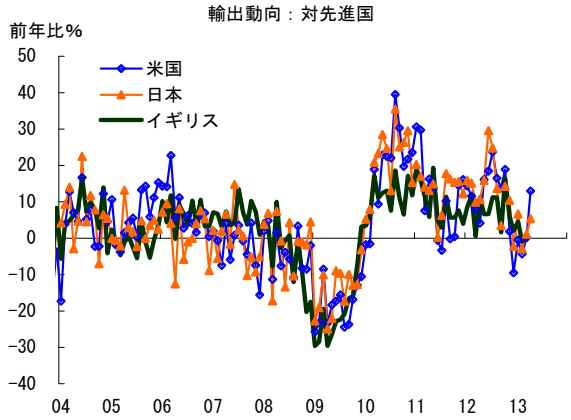
出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

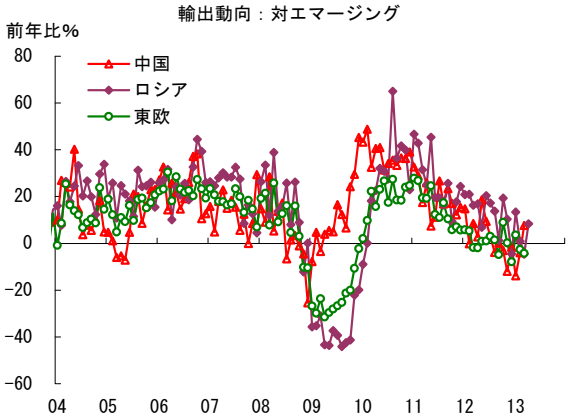
ユーロ圏 国際収支

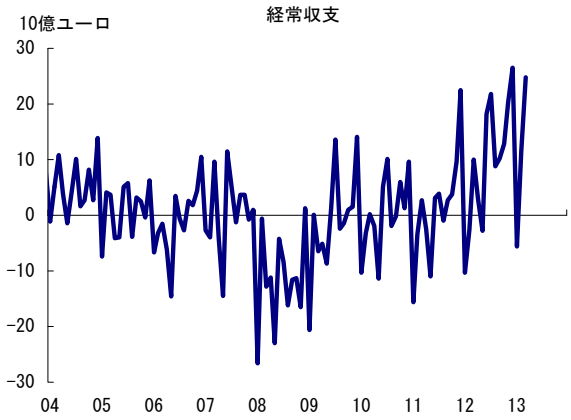
- 4 月の輸出は前年比＋9.1%、輸入は同＋1.2%と共にプラス成長に転換。輸出入の増加は工業製品の寄与が最も大きい。5 月の輸出向け受注残判断は、4 月とほぼ同水準
- 国別輸出動向を見ると、米国向けは前年比伸び率が大幅に回復。中国向けは 6 か月ぶりの前年比プラスに転じ、ロシアも前年割れを脱した
- 3 月の経常収支は 248 億ユーロの黒字となり、2 月より黒字幅が拡大。外国からの対ユーロ圏証券投資は 7 か月連続の買い越し。前月比で株式の買い越し額は増加、債券は減少した

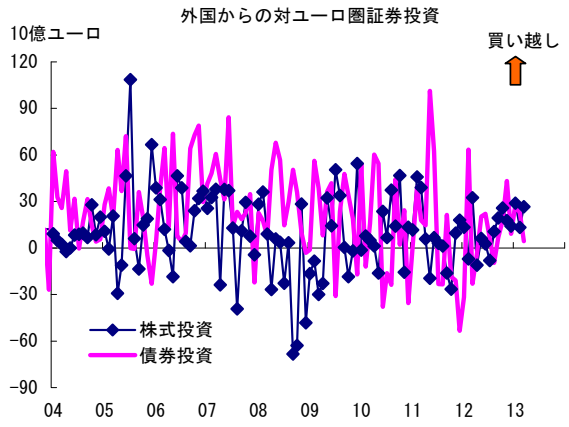








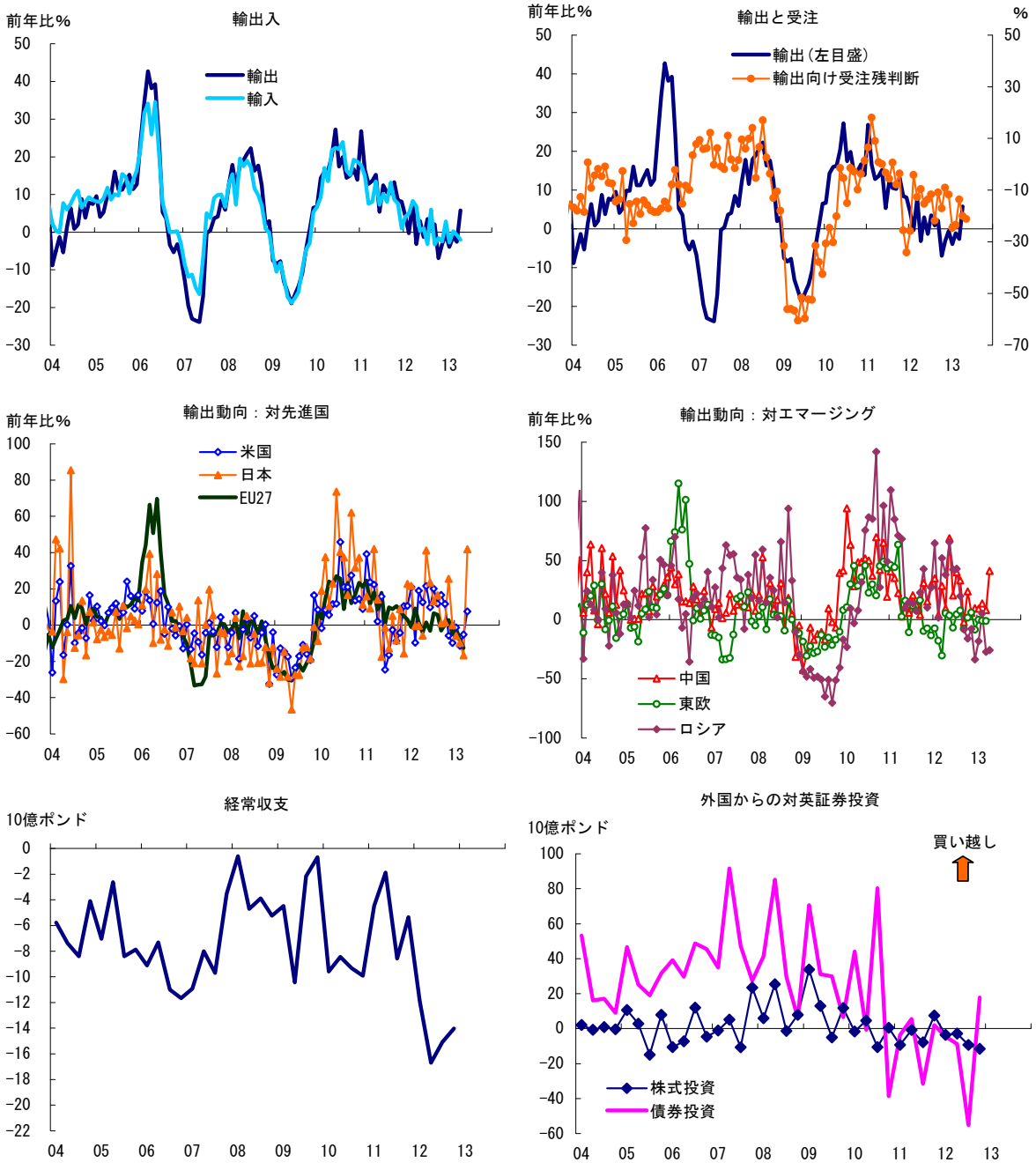




出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 4 月の輸出は工業品輸出の増加が大きく寄与し、前年比＋5.8%と 7 か月ぶりのプラス。輸入は同－2.0%
- 国別輸出動向を見ると、日本及び米国向けが前年割れを脱し、特に日本向けは大幅増加となった。中国向けは増加幅が著しく拡大
- 5 月の輸出向け受注残判断は、2 か月連続の前月比悪化



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成